



Yokohama Yomiuri ヨコハマよみうり

■発行／横浜読売会
■発行日／毎月5日
■発行エリア／横浜市内全域
■制作／ヨコハマよみうり編集部
〒231-0021
横浜市中区日本大通7
日本大通7ビル4F YBP
<https://yokohama-yomiuri.co.jp>

神奈川県からのお知らせ



県公式HP

2027年国際園芸博覧会 2027.3.19～9.26 横浜・上瀬谷

〈神奈川県出展エリア〉
Vibrant INOCHI Forest
かながわ館



12歳で能の世界に入り、60年以上にわたって芸を磨いてきた人間国宝・大坪喜美雄さん。横浜に暮らして約50年、今も舞台に立ち、次世代への芸の継承にも力を注いでいる。横浜能楽堂の開館30周年を記念する特別公演では、初めて「西行桜」を舞う。能の魅力や芸への想い、そして長年暮らす横浜への愛着について伺った。

12歳で芸の道へ

この世界に入ったのは12歳の時です。小学6年の夏休みに、東京の立川から伯父の家がある中野に引っ越したことがきっかけで、周囲の勧めもあり、能を習い始めました。伯父は大坪十喜雄という能楽師。息子はいたのですが体が弱くて、後継ぎがいなかったんです。能の家系では小学校に上がるタイミングで入門することが多いものですから、ずいぶん遅いスタートでした。流派の同世代の背中を一生懸命追いかけていましたね。

何気なく入った世界でしたが、お稽古は厳しいものでした。宝生流の宗家に週1回習いに行くのですが、家元からは怒られてばかり。事細かに教えるという指導方法ではありませんので、あらかじめ家で稽古しないと話にならない。お辞儀をして謡い始めて、具合が悪いところがあると止められて、「もう一遍」の繰り返しでした。伯父のほうは大声で怒ったりはしませんでした。褒めることもありませんでした。「まあまあ良かった」と言われるのがせいぜいでした。

今、14歳の孫に能を教えています。教え方は大分違います。一字一句丁寧に手ほどきして、一緒にやってみせて。能を続けてくれたら嬉しいですが、こればかりは本人の意思次第ですからね。

大学は東京藝術大学の邦楽科に進みました。美術科の学生たちとも仲良くなり、彼らの芸術に対する姿勢や情熱から大いに刺激を受けました。彼らと接するうち、芸の道を究めようと覚悟ができた気がします。

能の楽しみ方

能は室町時代に成立したもので、台本は古語。おまけに節がついていますから聞き取りにくい。現代のお客様にとって理解しに

くいのは仕方がないと思うのです。ですから無理に理解しようとせず、外国語のオペラやミュージカルを観るのと同じように、謡の響きや舞台に漂う雰囲気になだ身を任せ、溶け込んでいただければよいと思います。ストーリーを知っていたほうがより楽しめると思いますので、あらずじは事前に目を通しておいたほうがよいですね。

演じる側からすると、面をつけて舞台に立つとずっとその時代や物語の世界にタイムスリップする感覚があるんです。舞台をご覧になる方もきっと同じではないでしょうか。伊勢物語や源氏物語を題材にした演目なら平安時代の上流社会を目の前で見ているような、別世界にきたような感覚になる。そんな舞台はなかなかないと思います。

初演に挑む

この道に入ってから60年以上になりますが、「西行桜」を舞うのは初めてです。初演のものはもちろん緊張はしますが、いくつになっても何を演じていても緊張はします。主役の桜の木の精を演じます。

「西行桜」は、西行法師の庵にあった桜の木の精が、西行法師の和歌に異をとらえて夢の中に現れ、西行法師と一夜の交流を交わすというお話です。今回は「杖之型」といって、扇の代わりに杖を使って舞う場面もあり、通常と大分感じが変わる舞台になるのではないかと思います。

横浜能楽堂の舞台にはこれまで何度も立っておりますが、6月末の再開館後では初めて能を舞います。また、開館30周年の特別公演に立てることを大変嬉しく思っております。長年暮らす横浜に、こんな立派な能楽堂があることが誇らしいですね。横浜市民の皆さまにもぜひ公演に足をお運びいただければ幸いです。

vol.150
ヨコハマ想い
大坪喜美雄
宝生流
初心
能楽師
大坪喜美雄さん
otsubo kimio
シテ方宝生流。1947年生まれ。59年伯父である大坪十喜雄の養子に入り、宝生流十七世宗家宝生九郎重英、十六世宗家宝生英雄に師事。東京藝術大学卒業。2011年親世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。重要無形文化財各個認定保持者(人間国宝)。横浜市港南区在住。

横浜市民50年

横浜には50年ほど住んでいます。東京の出身ですが、結婚して二人目の子どもが生まれる時に上大岡に引っ越しました。その後子どもが大きくなるにつれ、二度、横浜市内で引っ越し、今は港南区に住んでいます。横浜は海にも近いし、東京に出るのも便利です。子育てにもいい環境で住みやすいですね。先日は横浜駅の上にある映画館に『キングダム』を観に行きました。

健康と体力維持のため、舞台がない時はなるべく歩くよう心掛けています。今もひと月に1週間ほどは地方に出かけますから。目標は5,000歩。舞岡公園は広くてウォーキングするのに最適です。歩数がカウントできるの

で、携帯電話は常に持つようになっています。健康に気を付けて、少しでも長く舞台に立ち、次の世代に芸をつないでいきたいと思っています。

横浜能楽堂開館30周年記念特別公演

狂言「八尾 替装束」 和泉流 野村又三郎
能「西行桜 杖之型」 宝生流 大坪喜美雄

10月24日(土)14時開演
横浜能楽堂
・S席8,000円
・A席6,000円
・B席5,000円(全席指定)
申込み・問合せ
☎045(263)3055
(9時～18時)



提供/公益社団法人 宝生会



初心者対象 手結びのきもの着付教室

通常全8回 12,000円 (1回1,500円×8回) → 受講料 0円

◆カリキュラム◆

ゆかたの着方と半幅帯、普段着の着方、名古屋帯のお太鼓結び、フォーマルの着方、袋帯の二重太鼓結び(全て手結びで行います)
※着物、長襦袢、帯の貸し出し有り(全8回3,500円)

◆開講要項◆

期間／週1回の2ヶ月(応募者には開講日の1週間前に受講券を送付)
定員／各時間5名
受講料／無料 ※但し教材費として期間中9,900円(税込)必要

教室	10月生		11月生		時間	会場
	コース	開講日	コース	開講日		
横浜	月曜	10/19	水曜	11/4	A・B・C	横浜駅西口 歩4分
銀座	月曜	10/19	金曜	11/6	A・B・C	有楽町駅銀座口 歩5分
新宿	木曜	10/15	月曜	11/2	A・B・C	新宿駅西口 歩5分
池袋	月曜	10/19	木曜	11/5	A・B・C	池袋駅西口 歩4分

A(10:30～12:00)／B(14:00～15:30)／C(19:00～20:30)

彩きもの学院
お申し込みは「ヨコハマよみうり」係へ

<https://www.saikimonogakuin.co.jp/>

☎0120-073005

